

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)

【公表番号】特表 2001-521497(P2001-521497A)

【公表日】平成 13 年 11 月 6 日 (2001.11.6)

【出願番号】特願 平 10-541168

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 31/55

A 6 1 K 31/519

A 6 1 K 31/554

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 25/18

【F I】

A 6 1 K 31/55

A 6 1 K 31/519

A 6 1 K 31/554

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 25/18

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 7 日 (2005.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手続補正書

平成17年3月7日



特許庁長官 殿

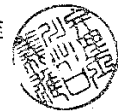
1. 事件の表示 平成10年特許願第541168号

2. 補正をする者

名 称 アクゾ・ノベル・エヌ・ベー



3. 代 理 人 東京都新宿区新宿1丁目1番11号 友泉新宿御苑ビル  
(郵便番号 160-0022) 電話 (03) 3354-8623  
(6200) 弁理士 川 口 義 雄



4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正により増加する請求項の数 なし



6. 補正対象書類名 請求の範囲

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙の通り補正する

[別 紙]

請 求 の 範 囲

1. ミルタザピンと抗精神病剤からなる組み合わせ。
2. 該抗精神病剤が典型または異型抗精神病剤であることを特徴とする、請求項1に記載の組み合わせ。
3. 該抗精神病剤が、アセプロマジン、クロルプロエタジン、クロルプロマジン、シアメマジンフルオプロマジン、メトトリメブラジン、プロマジン、メソリダジン、ペリシアジン、ピペラセタジン、ピポチアジン、スルホリダジン、チオリダジン、アセトフェナジン、カルフェナジン、ジキシラジン、フルフェナジン、ペラジン、ペルフェナジン、プロクロルペラジンチオプロパザート、チオプロペラジン、トリフルペラジン、クロルプロチキセン、フルペンチクソール、チオチキセン、ズクロペンチクソール、ベンペリドール、ブロムペリドール、ドロペリドール、フルアニソン、ハロペリドール、メルペロン、モペロン、ピパムペロン、スピペロン、チミペロン、トリフルペリドール、フルスピリレン、ペンフルリドール、ピモジド、アミスルプリド、ラクロプリド、レモキシプリド、スルピリド、スルトプリド、チアプリド、モリンドン、オキシペルチン、クロザピン、ロキサピン、リスペリドン、オランザピン、セルチンドール、クエチアピン、及びジブラシドンから選択されることを特徴とする、請求項1に記載の組み合わせ。
4. 該抗精神病剤が、アセプロマジン、クロルプロメタジン、クロルプロマジン、シアメマジンフルオプロマジン、メトトリメブラジン、プロマジン、メソリダジン、ペリシアジン、ピペラセタジン、ピポチアジン、スルホリダジン、チオリダジン、アセトフェナジン、カルフェナジン、ジキシラジン、フルフェナジン、ペラジン、ペルフェナジン、プロクロルペラジンチオプロパザート、チオプロペラジン、トリフルペラジン、クロルプロチキセン、フルペンチクソール、チオチキセン、ズクロペンチクソール、ベンペリドール、ブロムペリドール、ドロペリドール、フルアニソン、ハロペリドール、メルペロン、モペロン、ピパムペロン、スピペロン、チミペロン、トリフルペリドール、フルスピリレン、ペンフルリドール、ピモジド、アミスルプリド、ラクロプリド、レモキシプリド、スルピリド、

スルトプリド、チアプリド、モリンドン、オキシペルチン、クロザピン、ロキサピン、リスペリドン、及びオランザピンから選択されることを特徴とする、請求項1に記載の組み合わせ。

5. 医療に用いられることを特徴とする、請求項1から請求項4までのいずれか一項に記載の組み合わせ。

6. 1つもしくはそれ以上の医薬的に許容可能な担体と組み合わせた請求項1から請求項4までのいずれか一項に記載の組み合わせからなる製剤。

7. 精神異常症を治療及び／又は予防するために抗精神病剤と同時または逐次的に投与するための薬剤の製造におけるミルタザピンの使用。

8. 精神異常症を治療及び／又は予防するためにミルタザピンと同時または逐次的に投与するための薬剤の製造における抗精神病剤の使用。

9. 精神異常症を治療及び／又は予防するための薬剤の製造におけるミルタザピンと抗精神病剤の使用。

10. ミルタザピン及び抗精神病剤から選択される少なくとも1つの活性成分を含み、更に、ミルタザピンと抗精神病剤からなる組み合わせにおけるその活性成分、またはそれらの活性成分の使用法に関する指示を含む情報添付文書を含んでいる患者用包装。